

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は上下動あったものの大きな動きには繋がらない展開でした。朝方は主要都市における先週末までの消費者物価指数が市場予想を下回ったことから先週末比レアル高の2.31台後半で取引されましたが、週次サーベイにおける今年末のインフレ見通しは6.11%増から6.28%増に引き上げられたためレアル買いは続かず2.32台半ばへレアル安に切り返しました。その後は薄商いのなか小動きとなり、結局2.32台前半で引けています。また、マーケット引け後にS&Pがブラジルの長期ソブリン格付けを1ノッチ引き下げてBBBマイナスとし、アウトルックは安定的としています。

S&Pは格下げ発表後の声明で「今後数年間の低成長見通しが財政目標実行の可能性を引き下げ、選挙に向けた政策調整能力を抑制している。これらは外部からのショックへの機動的な対応余地を狭めているため格下げに踏み切った。」としています。今回格下げの根本要因はこれまでの財政出動による刺激にも拘らず低成長が続き今後も同じ見通しが続いている点です。結局、徴収した税金が非効率な運用に回って目詰まりを起こしているため格下げという形で警告されたということでしょう。但し、S&Pは投資適格級を維持するのは十分な状態であるとも述べているため、急激な資本流出に至ることはないでしょう。

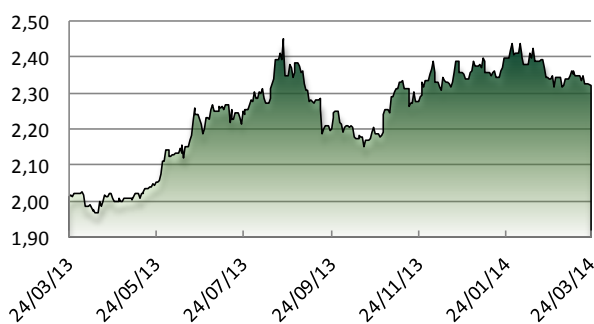
とは言え、ブラジルが投資家の期待に応える形で現状を打破していくためには投資主導型の経済構造への改革を断行し、中長期的な発展への展望を示すことが第一歩でしょう。今回の格下げは予想より早く実行されましたが、その分前倒しで改革へのインセンティブとして働く可能性も秘めていると思われます。

マーケットデータ

Indicator	Unit	3月21日	3月24日	前日比	2月24日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	43,98	44,01	+0,03	43,78	+0,23
USD / BRL Spot	BRL	2,3251	2,3229	-0,0022	2,3413	-0,0184
USD / JPY Spot	JPY	102,25	102,24	-0,01	102,51	-0,27
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	47.381	47.993	+612	47.394	+599
CDS Brazil 5yrs (クレディットデフォルトスワップ)	bps	180,8	178,8	-2,0	171,7	+7,1
Brazil 5yrs Gov. Bond	%	12,95	12,85	-0,10	12,51	+0,34
DI Future Apr15 (金利先物)	%	11,47	11,42	-0,05	11,24	+0,18
3 Months US Dollar Libor	%	0,233	0,235	+0,002	0,234	+0,001
CRB Index (国際商品指数)	Index	299,4	299,5	+0,1	302,2	-2,7

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

